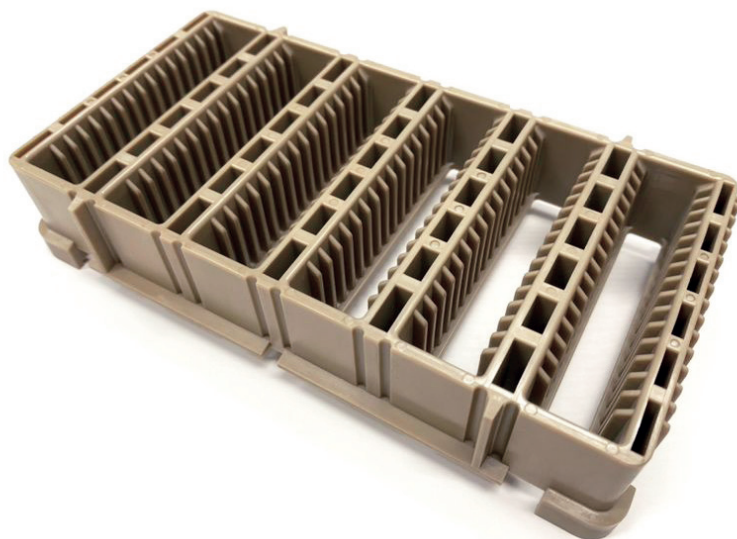




PEEKチップトレイ

主な事業内容

プラスチック射出成形品の
設計支援・製造・販売

主な取引先(納入先)

半導体製造装置メーカー、
医療機器メーカーなど

主な製品

半導体製造装置部品、医療機器部品、
細胞培養関連部品など

業務
内容PEEK樹脂の成形加工
で高いシェアを誇る

ダイプラは、プラスチック射出成形品のメーカーである。PEEK（ポリエーテルエーテルケトン）やCOP（シクロオレフィンポリマー）といった、高機能のスーパーエンプラ（エンジニアリングプラスチック）の射出成形技術で定評があり、豊富な実績を持つ。昭和33年に、大東樹脂工業所という

名で創業、昭和64年1月に会社組織とし、社名を現在のダイプラに変更した。現在では、取扱品目も汎用プラスチックからエンジニアリングプラスチック、そして、スーパーエンプラへと広がり、特に耐熱性・耐薬品性などに優れたPEEK樹脂の成形加工では高いシェアを誇る。

強み
多分野で選ばれる
スーパーエンプラ成形品

同社がスーパーエンプラの射出成形で強みを持つのは、高温加工にも耐える高性能のドイツ・アーブルグ社製射出成形機を使いこなしているからである。現在は同射出成形機を11台保有し、常に最新モデルに入れ替えている。精密・微細な部品から大型部品に至る

会長あいさつ

代表取締役会長
おおひがし

大東 章男さん

友好的なM&Aで上場企業の傘下に入った後、友好的に会社を買い戻すという経験から、本当に自分がめざす会社づくりがしたくなりました。そして、地域の方が入りたいと思ってもらえるような“いい会社”づくりに注力してきました。年間休日128日以上、残業ゼロ、有休取得率90%以上を続けており、今後もお客様や社員が満足できる会社づくりに努めていきます。

主な保有設備

- 射出成形機 ALLROUNDER 370Sほか ARBURG製 11台
- 画像寸法測定器 IM-6225T キーエンス製 1台
- 測定顕微鏡 MF-A1720 ミツトヨ製 1台
- 除湿乾燥機 MJ6-i-G3-30ほか 松井製作所製 4台
- 金型温調機 HB-180Z2ほか HB-Therm製ほか 12台

大阪
05

住 所／〒537-0003
大阪市東成区
神路2-2-7

T E L／06-6977-5735

F A X／06-6977-5736

創 業／昭和33年8月

設 立／昭和64年1月

資本金／1,000万円

従業員／19名

設計
支援
設計支援・技術提案で
顧客満足度を向上

まで様々な要求に応え、また、1台の成形機に1人の作業員を配置することで、複雑かつ高度なインサート成形を可能にする。そのため、特に高い寸法精度などが要求される半導体製造装置や医療機器などの各種部品、さらには特殊建築資材として、同社のスーパーエンプラ射出成形品が選ばれている。

同社のもう一つの特徴は、プラスチック射出成形品の設計支援・技術提案ができることだ。スーパーエンプラを使った製品は、小ロットの特殊な機能性部品が多く、その設計に不慣れた顧客も少なくない。そこで、同社では設計段階から顧客を手厚く支援している。これも、30年以上にわたりスーパーエンプラの加工に携わってきたからできることである。用途の聞き取りから材料選定、形状の設計に至るまで、顧客と密に連携して開発を進める。また、3D CADによるモデリングや光造形機による試作品の提供にも対応する。こうした対応は顧客満足度の向上につながり、高いリピート率につながっている。



COC立体培養用マイクロプレート



PEEK GF30特殊建築資材



<https://www.dai-pla.co.jp/>